

問題 I

断面が1辺20mmの正三角形で長さが100mmの三角柱状の物体Aがある。
物体Aの材質は、全体が均質で柔軟な白いゴムである。

問題に答える上で、消しゴムなどの実際の物を切ったり削ったり変形させるなどして、ヒントとしてはならない。

問 1

物体Aの両端面を相対的に180度ひねった形状の三面図を、解答用紙の
所定欄に描きなさい。なお、正三角形が見える面を側面図とする。見えない部
分の稜線は隠れ線(---)を用いること。また、ひねる向きは自由とする。

問 2

問1で三面図に描かれた物体Aを両手の指でつまむように持ち、その形状
がよくわかるように、手を含め、陰影をつけて、与えられた画用紙に描きなさい。

問題Ⅱ

店舗の大きさ、扱うメニュー、価格などの条件が同等な 2 種類のファミリーレストランがある。①は席についてから店員に口頭で料理を注文し、料理が席に運ばれ、支払いを食事後にレジで行う方式、②は入店時に券売機で食券を購入し、これと料理を交換して自席に運ぶセルフサービス方式、である。いずれもショーケースや掲示などにより、入店前にメニューや価格がわかるものとする。

問 1

これら二つの方式のメリット・デメリットを、店側・客側、それぞれの立場からできるだけ多く考え、解答用紙の所定欄に簡潔に書きなさい。さらに、その中からあなたが最も重要だと思うものをおのおのの一つ選び、文頭に○をつけなさい。

問 2

問 1 で○をつけたおのおののメリットを伸ばしデメリットを抑えられるような、①でも②でもない新しいファミリーレストランの方式を考案し、解答用紙の所定欄内に 150 字から 200 字の文章で説明しなさい。